

博物館協議会資料
令和 7 年 3 月 4 日

史跡蜷塚遺跡の再整備事業に伴う調査研究事業について

博物館

1 概要

史跡蜷塚遺跡の再整備事業（前期 令和 5 年度～令和 8 年度）が進行中である（浜松市 2021『浜松市文化財保存活用地域計画』、浜松市 2022『史跡蜷塚保存活用計画』、浜松市 2023『蜷塚遺跡整備基本計画』）。計画に従い、調査研究事業についても、発掘調査や調査研究体制を整備して過去（1960 年代等）の発掘品の再評価を進めている。

2 前期整備事業の概要

令和 5 年度～令和 8 年度の 4 か年計画

史跡蜷塚遺跡整備検討会による意見聴取

【委員】

水ノ江和同（考古学、文化財保護）同志社大学文学部文化史学科教授

脇谷草一郎（文化財科学、博物館学）奈良文化財研究所埋蔵文化財センター保存修復科学研究室長

池邊このみ（造園学）千葉大学大学院グランドフェロー

小山真人（自然環境）静岡大学防災総合センター客員教授

村野正景（博物館学、考古学、パブリックアーケロジ）静岡大学情報学部准教授

3 発掘調査の整理作業

第 8 次調査 2024 年 8 月 第 1 貝塚並びに南側谷部（推定水場）の整理作業
水洗選別法により「ウナギの骨」を発見（11/28 報道公開）

小展示、蜷塚遺跡 第 8 次調査展（12/1～12/28）

4 詳細測量調査と既存資料との整合

詳細等高線図の作成、貝塚、建物跡、土坑墓の位置関係合成
→ 蜷塚遺跡案内マップ制作へ（2025 年 3 月末完成予定）

5 動物遺存体調査

専門家による動物遺存体悉皆調査 次回 3 / 5 ～ 7 を予定

動物種同定、現生標本の収集、新たな展示のための資料調査

6 編組調査

土器圧痕の編組 レプリカ法による分析 編組技法の抽出

小展示、編み物圧痕の紹介（2/1～3/31 予定）

7 普及啓発活動

11/9 丸木舟航海実験映画上映会及びトークショー

11/23 丸木舟乗舟体験（佐鳴湖）

12/14 しじみの森の探求ツアー ウナギ編（参加者 43 人）

2/11 佐鳴湖交流会（佐鳴湖地域協議会主催）への出席

2/16 しじみの森の探求ツアー 編み物編（参加者 23 人）

3/24 現代のしじみ貝塚をつくろう（未就学児親子対象）

4/19 しじみの森の探求ツアー 火起こし編

蜆塚遺跡と佐鳴湖

佐鳴湖交流会
2025.2.11

鈴木一有（浜松市博物館）

蜆塚遺跡 縄文時代後期（約4000年貝塚を伴う環状
集落 建物跡と墓（土坑墓）
網羅的遺物（生活用具、貝・骨類）

1955年～1958年 発掘調査

1959年 国史跡

1979年 浜松市博物館開館

2022年 保存活用計画作成

2024年 発掘調査、過去資料の探索
しじみの森の探求ツアー開始

蜆塚公園

1978～83年
整備

主な施設

復元建物 5 棟
貝塚保存施設
江戸期の民家
（旧高山家）
浜松市博物館



1958年の調査風景



発掘調査説明会（貝塚）

■ 佐鳴湖の形成と縄文集落、豊富な文化財

佐鳴湖の形成

①台地、②入江、③汽水湖、④淡水湖
蜆塚遺跡の詳細

直径90mほどの環状集落、南に水場



佐鳴湖変遷図



蜆塚遺跡全体図

近隣の文化財

古墳時代及
び中世の文
化財が充実

活用策

入野協働セン
ターで見学会



入野古墳



八幡神社のクス



阿弥陀如来坐像



五輪塔（龍雲寺）

■ 丸木舟、漁撈、外海へ 佐鳴湖から浜名湖、太平洋へ

蜷塚集落と佐鳴湖の関係

貝（シジミ）の採集、魚類の捕獲（網漁、ヤス）、丸木舟の航海（外洋へ）



蜷塚遺跡での丸木舟製作

佐鳴湖での丸木舟体験、復元ヤス、ウナギ骨

■ 蜷塚遺跡の未来

蜷塚遺跡、変わります！

再整備

縄文集落の顕在化
古い施設の撤去

調査研究

既存資料の再評価
現在の学問水準での検討

教育普及

最新成果を反映
探求ツアーは定例化



しじみ森の探求ツアー（丸木舟編）



浜松市博物館内の展示風景



蜷塚遺跡再整備計画 前期 完成イメージ

—大人のための火起こし講座—

発火具を考える

しじみの森の探求ツアー

火起こし編



RENEWAL COMING SOON

日時：2025年4月19日（土）10:00～11:30

内容：発火具の解説と蜷塚遺跡ガイド

案内人：浜松市博物館職員ほか

参加費：博物館観覧料（大人 310 円、高校生 150 円、70 歳以上無料）

定員：50 人

申込：当日受付（9:30～）先着順、直接博物館受付へ



舞錐式発火具

問合せ 浜松市博物館 電話 053 - 456 - 2208

浜松市中央区蜷塚四丁目 22 番 1 号

はまはく座談会（２）「博物館資料と音楽、アート」開催要項

趣旨 博物館や文化財をとりまく実務や、社会情勢、法制度の変化等について、講演や関係するひとびととの間での議論を通して、参加者が知見を広め、理解を深めていくことをめざす。

日時 2025 年（令和 7）3 月 24 日（月）
13:00～15:00

会場 浜松市博物館会議室

対象 浜松市美術館・浜松市楽器博物館・浜松科学館・浜松市役所関係課職員（文化財課、各区文化財担当者、その他音楽文化関係部局を想定）・浜松市博物館協議会委員

内容 13:00 開会（司会 浜松市博物館職員）
趣旨説明（鈴木一有 浜松市博物館長）
13:05～13:15 共同研究の概要 中村耕作（国立歴史民俗博物館（考古学））
「縄文土器を奏でる ～考古学と音楽教育の共同による新感覚体験学習について～」
13:15～14:15 新感覚体験学習について（仮題）
早川富美子（國學院大學栃木短期大学（音楽教育学））
14:15～14:25 休憩
14:25～15:00 意見交換（ファシリテータ 鈴木一有）
15:00 閉会

申込 要事前申込（令和 7 年 3 月 7 日（金）までに浜松市博物館まで申込）
1 つの所属につき 3 名まででお願いします。応募多数の場合は調整させていただくことがあります。

同日開催 ワークショップ「現代のしじみ貝塚をつくろう」

3 月 24 日（月）10:00～12:00 浜松市博物館 未就学児親子対象

しじみ貝塚づくり しじみ楽器づくり ピアノとコラボ演奏 ポラロイド撮影等

※ イベントの見学をしていただくことができます（事前にお伝えください）



＼ 1930年につくられた小さなグランドピアノの幻想的な音と、しじみマラカスのリズムに合わせて ／

現代のしじみ貝塚をつくろう。

2025.3/24(月) 10:00～12:00

参加費 無料

場所：浜松市博物館

持ち物：お家で食べたしじみの殻

(1家庭、両手いっぱい程度)

親子 20組限定

対象:お子さま未就学児



縄文人たちは生き物だけでなく、自分たちのまわりにあるすべてのものに魂が宿っていると考えていたと言われています。貝塚は単なるゴミすて場ではなく、食糧となってくれた貝・魚・動物たちや役目を終えた土器や石器などの道具たちに感謝を込めて、神の世界に送り届ける場だったと考えられます。そんな貝塚をピアノの音とリズムに合わせて、親子で作るワークショップ。

10:00

博物館の受付に集合
館長と一緒に
博物館見学

10:30

しじみ貝塚作り
しじみ楽器作り
ピアノとコラボ演奏

12:00

ポラロイドで
写真撮影
解散

先生紹介



応募フォーム



浜松市博物館

静岡県浜松市中央区蛸塚4丁目22-1

主催: 博物館活用促進実行委員会 共催: 浜松市



共催



大和ハウス工業株式会社

協力

大和ハウス浜松支部協力会

